

日本の安全安心考えます!

セキュリティ研究 115 June 2008

特集 IPカメラシステム普及を目指す業界各社の戦略を探る (座談会)

池上通信機株式会社 / ソニーマーケティング株式会社 / 日本ビクター株式会社 / 株式会社日立国際電気
松下電器産業株式会社 / パナソニックシステムソリューションズ社 / ビデオテクニカ株式会社

しあわせ通信 ゴールとは、最善を尽くすこと

2008年北京五輪 豪州代表 ショーン・ロー (Sean Wroe)



SECURITY INDUSTRY WATCH

松下電工株式会社 / 松下電器産業株式会社 / パナソニック オートモーティブシステムズ社

巻末特集 SECURITY BUSINESS INFORMATION

個人顧客に提供する最適な盗聴防止対策とは？

～個人顧客における盗聴対策の問題点～

特定非営利活動法人 **日本情報安全管理協会**

常務理事 **三浦 繁二**

日本において音声情報のセキュリティは、電子や紙媒体に比べ、決まったルールがなかった為、盗聴防止対策という分野においてはさまざまな問題点を抱えています。

個人情報（特にプライバシー情報）が取り交わされる会話・通話などが第三者に聞かれてしまうというリスクやその不安感は、簡単に解決できる問題ではありません。また、ソリューションのレベルに関しても、業界内で統一されたものではなく、市場へ明らかなる混乱も懸念されます。事実、以下のような事例も報告されています。

弊協会への報告事例

1. 平成 19 年 8 月探査実施（大阪府高槻市）

発生時期不明なるも依頼者宅内の電化製品が意思に関係なく動作すること。この現象が頻りに発生することから、「盗聴・盗撮」を懸念し、探査の依頼に至った。

探査の結果、異常は確認できなかった。しかし、周辺環境から原因となる要素が散見された。依頼者宅には国道が隣接しており、地元住民及び運送業者が時間短縮の為に通行する、いわゆる抜け道として利用されているものであった。運送業者の中には「不法無線局」を開設、運用している状況が確認された。これらの違法電波が依頼者宅内の電化製品を誤作動させていることが原因である旨を依頼者に説明した。

また、当該宅内の天井においても不審な物音がするとのことで、装置の設置を危惧していたが、目視の結果、異常は確認できなかった。この件については、以後不審を確認した時には、警察機関等への通報をするように促した。

依頼者との会話において、過去にも「盗聴・盗撮」に関する調査 3 回実施していたとのこと。1 回目及び 2 回目の調査は、同名の業者で調査料金はいずれも 3,000 円とのこと（簡易調査と史料される）。3 回目は興信所に依頼、女性 1 名、男性 2 名、計 3 名の調査員で構成されるもので、調査料金 10 万円とのことであった。なお、興信所の調査は、「最新式の機械を使用している」という言葉が印象的であったが、その信憑性については不明。いずれの調査も情報収集装置の設置は確認されなかった。しかし、時間が経過し不安要素が増幅し、本件を依頼することになった。

今後の対策として、不審者侵入等に関する防犯対策の必要性及び不審現象に対する正しい認識が課題となる旨を伝え、本事案を終了とした。

2. 平成 20 年 4 月探査実施（千葉県習志野市）

本件調査は、音声情報漏洩、車両内音声情報漏洩（追跡装置を含む）を対象とした検知作業であった。調査の結果、いずれも異常の検知は確認されなかった。調査報告時、情報漏洩対策に関する相談の他に以下について相談があった。

① 本件の依頼について、複数の「盗聴」に関する業者に問い合わせたところ、次項のような回等があったとのこと。

- (A) 話したくない依頼理由等、詮索してくる。
- (B) 「大変です」という言葉を重ねて不安を煽っている。
- (C) 調査料金を約 30 万円という法外な見積りを出してきた

② 報道（TV）で盛んに見る「盗聴の実態」とは、どの程度信用できるのか。また、その内容は信憑性のあるものなのか。

③②について、盗聴行為そのものは、実際に存在すると考えられるが、「どの家にも仕掛けられている」という思いにさせるような表現は、不安を煽っているようにしか思えない。

前項について以下の回答をした。市場経済を優先する現代社会では、仕事を取ることを基本としている限り、不安を助長して契約を結ぼうとする考えは否めないが、不安を持った者に追い討ちをかけるような行為そのものは倫理観が低いものと考えられる。しかしながら残念なことに、このような業者が存在することは事実であるので今後も注意を必要とするようお願いした。

以上のような実態が報告されている中で、弊協会が 1 事業として運営している専用相談窓口である「盗聴・盗撮被害なんでもほっとライン（以下、「ほっとライン」）における相談内容の分析によると、盗聴・盗撮対策に従事する事業者の問題点は概ね下記の 3 点に集約されています。

- ① どこに相談して良いのか判らない。
- ② 技術力を図れる指標がない。
「盗聴器が本当に無いのか？」「それとも見つからないのか？」
- ③ 料金がバラバラで適正価格が判らない。

上記の解決策として、当協会は次の施策を講じています。

- ① 無料の相談窓口を設置……「盗聴・盗撮被害なんでもほっとライン」（2004 年 6 月より）
- ② 専門技術者の育成……「情報安全管理士・通信傍受対策技士資格認定制度」を実施
- ③ 事業者のサービス提供価格の適正化……大手企業との業務提携により、業界の先陣を切る。

上記施策について弊協会では、下記の基本概念に基づき運用しています。

1. 相談者に対して正しい情報提供をすること

ほっとラインへの反響は大きく、現在までに 1,000 件を超える相談に対応しています。同時に昨今、報道（TV、新聞等）で盗聴・盗撮を取り上げた番組・記事が多見され、番組そのものへの質問も多くなってきています。報道内容によっては安心安全をテーマにしながら、逆に誰でも持っている小さな不安を増大させる報道も散見されるという問題点も浮かび上がっています。下記は「ほっとライン」を通じて聞こえてくる顧客の声の一部です。

- ・報道（TV）で放映される「盗聴の実態とはどこまで真実なのか」
- ・テレビで取り上げられる位、社会問題化していながら、現実的な対応、解決方法が知らされていないが故に不安だけを増幅される。
- ・（TV番組のように）あんなにたくさん仕掛けられているのか。
- ・探査した中で何%位、発見されているのか。

個人レベルの盗聴・盗撮は法人の音声情報漏洩対策ほど大掛かりではないにしろ、不安感、恐怖感の場合によってはそれを越えるケースも多々あります。盗聴器の有無を越えた解決が要求される中、市民の安心と安全の為に啓蒙・啓発活動は欠かせません。不安を煽るだけの視聴率重視の番組制作ではなく、報道関係者また製作に協力する業者は真剣に考え、市民に対する正しい情報提供を切に願います。

2. 簡易探査の問題点について

簡易的な探査を試みる事業者も散見されています。しかしこれも問題を抱えており、簡易探査の場合、対象となる盗聴電波は一般に市販されているレベルの既知周波数の電波を発見する為の手法であるため、少し専門的知識・技術を持った人が悪意を持って盗聴器を改造・自作したものを発見することは非常に困難です。

盗聴探査の性格上、100%安心のセキュリティは困難とはいえ、50%, 60%安心ならそれでいいというレベルのセキュリティ感覚の顧客にそのまま迎合し、専門知識の無い顧客に不完全な探査を行うのはいかがなものなのでしょうか。むしろプロとして真の安心と安全を指導すべきではないのでしょうか。弊協会では一般住居に対して下記のような探査方法を推奨しています。

| 探査方法 | 内 容 |
|----------------------|--|
| 目視による点検 | 機械を使った探査終了後盗聴器が仕掛けられやすい場所などを目視して確認する有線式盗聴器、電池切れ盗聴器、新型盗聴器、不審痕などが無いかどうかの確認に有効。 |
| 広帯域周波数点検 | 視聴覚 聴覚だけの探査は長時間に亘り神経の集中が要求される。疲労による漏れを防ぐ為、スペクトラムアナライザを併用し、波形を視覚的に観測するという探査をプラスした、確実性のある探査法。 |
| | 聴 覚 広帯域受信機を使用し、ある周波数からある周波数までを一定の幅で周波数を受信しながら聴力により盗聴電波を探す方法。 |
| メモリスキャン (既知周波数点検) | 受信機にあらかじめ、既に過去知られている主な周波数を記憶させておき、順次盗聴電波を探す方法。大半の探査業者が行っている点検法であり、改造、自作等、未知の周波数には対応できない。 |

一方で、盗聴という性格上、自分自身で探査をしたい（なるべく人に知られたくない）というニーズは必然的と思わ

れ、弊協会はこの分野でも簡単に自分で取り扱え、更に信頼性の高い簡易発見器の開発を進めています。

3. 探査時間の基準について

上記探査方法では、機材を使って探査する時間は、ロケーションにより異なるが、目視点検の結果に基づくコンサルティングには最低でも15~30分は時間をかける様、関連事業者には指導しています。仕掛けてあることよりもむしろなぜ仕掛けられたのかを考えることのほうが重要となります。

4. 価格について

ホームページなどでPRを行っている盗聴対策事業者の探査価格を比較すると、各々自由に価格を設定しており、探査価格はまちまちです。室数で価格が変わるケースと広さ（m²数）により価格が変わるケースと、これもまたまちまちです。

当協会では、大手引越業者、大手警備会社等との業務提携の中で設定してきた価格が、業界標準価格となるよう、業界関連事業者に協力を依頼していくよう努めています。

5. 盗聴・盗撮なんでもほっとラインのソリューションレベル

弊協会では依頼のあった個人顧客に対して、ニーズに合わせた段階的なソリューションを提供しています。

| レベル | ソリューション内容 | 解 説 |
|-------|--|---|
| レベル 4 | レベル3を実施していく中で、積み重ねてきた小さな不安を解消する為の定期探査 | レベル3で築いた安心感も、時がたち、周りの状況の変化（引越、リフォーム、異常と思われる出来事等）により、再度レベル1から3までの作業を繰り返すことにより安心の低下を食い止める。 |
| レベル 3 | レベル2により取り戻した安心を今後顧客自身で維持していく為のコンサルティング | 探査の結果、現時点では盗聴・盗撮の心配はなくなるものの、この安心を明日以降も如何に維持させるか、顧客自身が自分でできる安心の維持テクニック（防犯対策も含む）をアドバイスすることにより、探査は完了となる。 |
| レベル 2 | 盗聴探査実施による不安の解消 | レベル1で収集した情報を基に、現場でなければ正確に判断できないケースの場合、探査を実施する。このレベルで異常がなければ、この時点が安心・安全のゼロ基点となり、次回、不安相談時に、継続的な回答へと繋げることが可能。 |
| レベル 1 | ほっとラインで不安に対し質疑応答 | 報道番組等を見て、今まで「なんとなく不安」と思っていたことが現実の不安となり、問い合わせしてくる方々の中には、話を聞き、1つ1つの不安に実害のある状況でないこと、またその対策を伝えるだけで十分安心できる案件が多い。 |

お問い合わせ先

特定非営利活動法人 日本情報安全管理協会 事務局

〒108-0073 東京都港区三田 2-14-5 7F

TEL : 03-5765-7677 FAX : 03-5765-3181

URL : <http://www.jilcom.or.jp> E-MAIL : jilcom@aioros.ocn.ne.jp